

# 本当の幸せ

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/3/24

受難週

# 日本人に広まりつつある 気になる言説

「まず自分が幸せでなければ  
他の人を幸せにできない」

確かにその通りのように思うが  
果たして本当だろうか？

# とある書き込みから

「人は自分自身が満たされて初めて、他人にも分け与えられるようになるのです。自分が満たされていない状況で他人に分け与えようとするれば、自分自身がどんどん消耗していきます。自分が満たされて、そこから溢れ出るものを与えていけば、無理なく自分も相手も幸せになることができます。」

- 「自分自身が満たされる」とはどういう状態？
- 「そこから溢れ出る」ほど幸せになれるのか？
- 自分が幸せでなければ他人を幸せにできないのか？

# イエス・キリストの言葉

「はっきり言っておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。」

ヨハネ福音書12章24～25節

## 2種類の命

### •「自分の命」“プシュケー”

- <この世の> <肉体の> 命
- 「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」15:13(10:15,17他)

### •「永遠の命」“ゾーエー”

- <無限の> <霊的な> 命
- 「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。」1:4
- 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」3:16 (5:24, 6:27他)

# (この世の)命を「愛する」か「憎む」か

- 自分の命(プシュケー)を「愛する」とは
  - この箇所では「フィロー」が使われている
    - 有名な「アガペー」ではない
  - ”フィロー”とは「好む」という意味で、ここでは「**執着する**」とか「**こだわる**」という意味
- 自分の命を(プシュケー)を「憎む」とは
  - “ミセオー”は「憎しみを抱く」というより「**執着しない**」「**重要視しない**」という意味
- 「失う」とは「台無しにする」という意味
  - 未来形ではなく**現在進行形**！

# 原語に忠実に訳すと

「自分のこの世の命に執着する者は、それを台無しにしているが、この世で自分のこの世の命に執着しない者は、それを保って無限の命に至る。」

## •2種類の命

- “プシュケー”の延長線上に“ゾーエー”はない！
- “プシュケー”に対する態度が“ゾーエー”を生む

## •2つの世界

- 一時的な(この世)世界の生き方が永遠の世界の運命を決める

# この言葉を文字通り実行した方

「はっきり言っておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」

- 一粒の麦は“プシュケー”を持っている
- この命に執着したら「一粒のまま」朽ちていく
- しかし、執着を捨て「地に落ちて…死ねば」、「多くの実を結ぶ」
- キリストは“プシュケー”に執着せず、十字架で死なれたので、人類に無限の命という「実」をもたらしてくださった！

# わが子の幸せを優先できる人間

- 人間は基本的に自己中心的であるが(自分の命を愛する)、**親**になるとわが子の幸せを優先すること、すなわち、わが子が幸せである(自分の命を憎む)ことが自分の幸せだと感じることができる
- **これは、神が人間に与えられた、<本当の幸せ>とは何かを知るためのヒントである**
- もし親が、自分が幸せでなければわが子を幸せにできないと考えたら、子育ては破綻する
  - **なぜなら子どもは親から奪って成長するから**

# 幼児教育者の講演会で

- 保育の専門家が「まず保育士が幸せでなければ、子どもを幸せにすることはできません」と言った(現地には来ず動画で)
- その後登壇した私は、開口一番「私はそうは思わない！」と言った
- 私は「幼児教育者とは、子どもが幸せになることで自分が幸せになることのできる仕事ではないか」と言った
- ほとんどのアンケートは私の意見に賛成というか、「よく言ってくれた」という感想だった！

# 本当の幸せとは

- 自分が幸せになることは間違いではない
  - 大いに自分を喜ばせれば良い
  - しかし、それはこの世だけのもので、何の実も結ばない(何も残さない)
- 誰かのために自分の命(時間・お金・自由)を犠牲にするなら、もっと幸せになる
  - それは無限に波及していき、多くの実を結ぶ
- 「**受けるよりは与える方が幸いである**」
  - 自分を満たすのではなく、誰かを満たすことに本当の幸せはある

# 与える幸せに不幸はない！

- 「不幸」とは自分が幸せを感じられないこと
  - 自分が満足すること嬉しいことを「幸せ」だと考えていると、そうで無い状態が「不幸」になる
- 誰かを幸せにすることが自分自身の幸せだと考えているなら、「不幸」だと感じることはない
  - 誰とも関われなくなったら不幸だけれど…
- もし今「不幸」だと感じているなら、自分の「**幸福観**」を改めるべき
  - 幸福の尺度でもない

# イエス・キリストの言葉

「はっきり言っておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。」

ヨハネ福音書12章24～25節